

いっしょに考えよう、これからの献血

～石川県学生献血推進委員会 献血セミナー(グループワーク)～



10～30代の献血者がこの10年間減少し続けているという現状を踏まえ、これからの献血のために学生献血推進ボランティアが取り組めることについて話し合おうと、昨年12月2日(土)、石川県学生献血推進委員会のメンバーが献血セミナーを実施しました。

県内4校から集まった学生献血推進ボランティア総勢21名は、血液センター職員から献血を取り巻く現状について説明を受けた後、5つのグループごとに、10代・20代・30代の方の献血を推進するために自分たちはどんな推進活動ができるか、若者ならではの視点で様々なアイデアを出し合いました。



参加した学生は、「自分たちの活動の幅が広がるいいアイデアがたくさんあった」「他大学の学生とも意見交換できて新鮮だった」「自分たちより年上の30代の方へのPR方法をもっと考えたい」などと話し、今後の活動への新たな意欲につながった様子でした。



献血セミナーに参加して

金沢工業大学 1年 辻 瑞生

学内献血で献血を実際にしてみたい興味を持ち、今回の献血セミナーに参加しました。グループワークでは、私のグループは特に20代の方に献血に協力してもらうためにはどんなPR方法があるか、他校の上級生達とたくさん意見を出し合いました。今回のセミナーを通して、上級生や赤十字の方々の献血に対する思いや、熱意を肌身で感じることができました。人を助け、救うことは非常にかっこいい生き方だと私は考えています。人生の長い時間の中の40分で尊い命を救える献血を私は続けたいです。

「石川県学生献血推進委員会」は、県内の大学・短期大学等に在籍する学生献血推進ボランティアの組織です。参加ご希望の方は、石川県赤十字血液センター 献血推進課(076-254-6372)までご連絡ください。※活動内容など詳しくはホームページをご覧ください

ありがとうございます!! 永年献血

若い頃はバイクに乗り怪我をよくしていました。そんな時に献血の事を知り、自分の為にも献血をするようになりました。献血が友人の手術に使用された事もありました。70歳前日まで元気に続けることができ、人の役にたったのかな...と思います。

上尾 憲治 様(金沢市)

転勤先の金沢で、ラプロ片町から献血を始め、妻と共に献血回数が増えていきました。その後名古屋、富山、大阪と各地でも献血に協力しました。自分の健康管理にもなり、社会のお役に立って、続けてこられました。ぜひ若い方々にも積極的に献血をしていただきたいと思います。

林 達夫 様(金沢市)

学生限定 団体献血キャンペーン

献血ルーム・献血バスでは、学生限定で「団体献血キャンペーン」を実施中です。クラス、ゼミ、部活動、サークルなど、5名以上で献血にご協力いただいた団体に、2Lの飲料水を1ケース(6本入り)プレゼント! 5人全員同日に献血しなくてもOK! 受付の職員に「団体献血で来た」とお申し付けください。献血もみんなでやれば怖くない! ということで、さあ、みんなでLet's 献血☆

このチラシを見かけたら、友達と献血へGO!

あ・と・が・ま

あけましておめでとうございます。寒さが厳しく外に出るのが億劫な毎日ですね。さて、今年度は、若年層の献血をテーマとした記事を連載してきましたがいかがだったでしょうか? 輸血を必要とする患者さんが増える一方、献血を支えていただいている皆様が年々卒業され、若年層の献血者の確保が課題となっております。もし身の回りに元気なお若い方がいらっしゃいましたら、是非一緒に近隣の献血ルームへお越し下さい。スタッフ一同お部屋を暖かくしてお待ちしております。(さちしお編集委員 W)

いっしょに行こう。

いっしょに行こう、仲のいい友達と。
 いっしょに行こう、大切な恋人と。
 いっしょに行こう、かけがえのない家族と。
 ひとりより、仲間といっしょなら楽しいから。
 ひとりより、恋人といっしょなら心強いから。
 ひとりより、家族といっしょなら安心できるから。
 ひとりじゃなかなかできないことも、誰かといっしょならできる気がする。
 だから、いっしょに行こう。
 ひとりより誰かといっしょなら、助かるいのちも増えるから。

そのつながりを、いのちのつながりに。♡

はたちの献血

「はたちの献血」キャンペーン

平成30年1月1日(月) ~ 平成30年2月28日(水)

ぜひお近くの献血ルーム・献血会場にお越しください

- ▶▶ 献血ルーム ル・キューブ ◀◀ 金沢市袋町1-1 かなざわはこまち3階 TEL (076)220-1655
【受付時間】10:00~12:30 / 13:50~18:00 【定休日】月曜日(祝日の場合は開設)
- ▶▶ 献血ルーム くらつき ◀◀ 金沢市鞍月東1-1 石川県庁前 TEL (076)237-3745
【受付時間】月~金 9:00~11:40 / 13:00~16:45 【定休日】日曜・祝日
土 8:30~11:40 / 13:00~16:15
- ▶▶ 献血バス ◀◀ 県内各地の市役所・町役場・公共施設・ショッピングセンターなど
【受付時間】各市町広報や献血会場ポスター、石川県赤十字血液センター HP等でご確認ください

さちしお

SACHISHIO

【さちしお】
「血液事業をとおして、みなさまの幸せに貢献する」との願いを込め、幸せの「幸(さち)」と「血潮(ちしお)」を組み合わせ、名付けられました。



年頭のごあいさつ

石川県知事 谷本正憲



新年、明けましておめでとうございます。
県民の皆様には、日頃より血液事業に深いご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。
本県の血液事業は、昭和40年1月の事業開始以来、これまでに延べ約311万人の方々にご協力をいただき、県内の医療機関で必要となる血液の確保ができています。これもひとえに県民の皆様への深いご理解と善意の賜であると重ねて感謝申し上げます。

少子高齢社会の進展に伴い、献血を支える若年人口が減少し、加えて若者の献血離れも懸念されています。一方、高齢者に対する治療は増加するなど、今後、血液需要の増加が予想されています。

このため、十分な血液の供給に向けて、県民の献血意識の高揚を一層進めるとともに、若年層に対する血液事業の普及啓発をさらに強化する必要があると考えています。こうした中、平成28年10月に金沢市藤江北に移転した石川県赤十字血液センターでは、新たにボランティアルームを設置し、学生献血推進ボランティアの育成等により一層取り組むとともに、高校生への献血セミナー等を通して献血の必要性を訴えているところです。

また、血液の安定供給の加えて、安全に確保することが求められており、血液の検査精度の向上をはじめとした様々な安全対策にも努めています。

県でも、献血ポスターコンクールの開催や、大学の学園祭などを通して啓発を行っているところですが、県民の皆様がいつでも安心して輸血が受けられるよう、より一層、国や石川県赤十字血液センター等と連携し、血液の安定供給と安全確保に万全を期してまいりたいと考えています。県民の皆様におかれましても、昨年にも増して、血液事業へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、本年が皆様にとりまして希望に満ちた幸多い年でありますよう心からご祈念申し上げまして、新年の挨拶といたします。

年始のご挨拶

石川県赤十字血液センター 所長 塩原信太郎



明けましておめでとうございます。新年にあたり、県民の皆様方の心温かい善意の献血に支えられ、血液事業が円滑に推移しておりますことをまずご報告でき、心から感謝申し上げます。

おかげさまで、平成28年度は延べ約4万3千人の皆様から献血をして頂き、必要とされる血液製剤を患者様の元へ不足することなくお届け出来ました。事故やお産による大量出血、外科手術、心臓手術の出血対策、がんの化学療法、血液の病気、臓器移植、慢性の貧血、新生児黄疸などの治療に使わせて頂きました。

製剤の種類も増え、輸血でアレルギー反応を起こす患者様には洗浄血小板、血小板の輸血効果が減弱した患者様にはHLA適合血小板、出産後に交換輸血が必要な新生児にはO型赤血球とAB型血漿を混ぜた合成血など、オーダーに応じ、石川製造所と連携して、素早く病院へお届けできました。患者・家族様からも大変感謝されています。皆様方のご支援の賜物と感謝申し上げます。

いよいよ本格的な少子高齢社会を迎え、若年献血者の確保と計画的な献血推進が急務です。血液センターは国や県と連携し、市町、ライオンズクラブ、各種学校、献血協力企業・団体などのご支援を賜りながら、高校生や大学生をはじめとする若者の献血率向上と効率の良い献血推進活動を一層強化していく所存です。

献血はこれからも皆様方の“人のために思う気持ち”に支えて頂くしかありません。皆様方が安心して献血して頂けますように、また健康管理のお役に立てますよう、献血環境の改善や健康相談の実施など、職員一同一層力を注いでいく所存です。

本年も皆様方のご指導ご鞭撻をお願い申し上げますとともに、県民の皆様方にとりまして本年が幸多い一年になりますことを心からご祈念申し上げます。

「はたちの献血」キャンペーンに寄せて

冬から春先にかけては、毎年献血者が減少しがちです。輸血を必要とする患者さんに安定的に血液製剤をお届けするために、たくさんの皆さまのご協力が必要です。

そこで、若者をはじめとする県民の皆さまに献血へのご理解とご協力を広く願うために、毎年この時期にキャンペーンを実施しています。今年も1月1日(月)～2月28日(水)の2か月間にわたり、各種広報キャンペーンを展開します。寒さの厳しいこの時期、献血を通して皆さまの温かい心を患者さんにお寄せください。皆さまのご協力よろしくお祈りいたします。



いっしょに行こう。

- ひとりより、仲間といっしょなら楽しいから。
- ひとりより、恋人といっしょなら心強いから。
- ひとりより、家族といっしょなら安心できるから。
- ひとりじゃなかなかできないことも、誰かといっしょならできる気がする。だから、いっしょに行こう。
- ひとりより誰かといっしょなら、助かるいのちも増えるから。

弊社は「献血サポーター」に参加しており、日頃から全社的に献血に協力しています。昨年5月に先輩方に誘われて献血ルームくらつきに伺い、初めて献血しました。私は注射や採血が苦手ですが、いざ献血してみると、想像していたより痛みは少なく安心しました。また後日生化学の結果もいただいて、ちょっとした健康チェックにもなりました。何より、受付で先輩方が皆献血カードをサッと出したことに驚きました。今回、自分の献血カードをもらえたのがなんだか誇らしいです。後輩ができれば、ぜひ献血に誘いたいと思います。街中のイベント等で献血バスを見かけることもあると思います。様々な機会を通して、同世代の若い皆さんがもっと献血を知ってくださったらいいなと思います。



岡 拓磨さん(23)
中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社 金沢支店

昨年7月に当館に献血バスが来て、先輩と一緒に献血しました。献血は今回で3回目です。普段は当館にお越しくださるお客様のおもてなしを担当しています。お客様が笑顔になってくださるととても嬉しいです。献血する時も、誰かの笑顔につながったらいいなと願いながら協力しています。最近では後輩達に献血について聞かれることも増えてきました。経験談を話したり、一緒に献血したりもしています。献血のきっかけがなくなかなか踏み出せないという方も、地域で献血バスを見かけたら、ぜひお友達やご家族と一緒に献血してみてください。血液センターの看護師さんが優しく対応して下さるので安心です。もちろん当館に献血バスが来る際には、どうぞお越しください。



日野 真里亜さん(23)
APA HOTEL&RESORT 加賀片山津温泉 佳水郷

高校に入学して間もない頃、通学路途中の城東建設さんに献血バスが来ているのを見かけました。たくさんの社員さんが献血しているのを見て、いつか私も献血してみたいと思っていました。その後、保健体育の授業で、自分たちのような若い世代の献血が必要とされていると学んだので、献血ができる16歳になってすぐに献血してみました。最初は少し緊張したけど、今は平気です。この冬も、城東建設さんで4回目の献血をしたところです。献血することで、自分が誰かの役に立てると実感できてとても嬉しいです。献血したことのない方も、ぜひ一度献血してみてください！



戸澤 彩歌さん(18)
石川県立金沢商業高等学校3年

金沢西警察署 若鮎会(独身会)は、活動の一環として毎年献血に協力しています。私もメンバーとして昨年4月に初めて献血しました。私の血液が、輸血を必要とする方のために役立って嬉しかったです。私は、困っている人の助けになりたいと考え警察官になりました。現在は主に交番に勤務し、地域の皆さんの安全を守るため日々職務にあたっていますが、献血することで、職務とはまた別の形で誰かの力になれるのは嬉しいことです。病气と闘っている方々に少しでも貢献できればという思いでこれからも献血に協力していきます。また、周りにも献血をPRしていきたいです。気軽にできる献血が、誰かの命を支えています。多くの皆さんに積極的に献血に参加してほしいと思います。



形屋 流風さん(20)
石川県金沢西警察署

そのつながりを、いのちのつながりに。♡